

地震・地震津波及び風水害による被災者をどう守るか

質問 大規模地震による家屋の倒壊数、死者数、避難者数、津波浸水区域内に居住する推定人口数は。命山整備の検討について。長期化した避難所での入浴をどう考えるのか。

答弁 平成17年3月に三重県が作成した報告書では、本市ではM8.7の東海・東南海・南海地震が発生した場合、最大震度6弱の地震規模と想定

され、建物被害総数は12万7,452棟、人的被害は午前5時発生の場合、死亡者数が139人、負傷者数が1,385人である。津波被害があると全壊が510棟、半壊が671棟、死亡者は32名増加、津波浸水予測区域内の居住人口は、約5万5千人と推定される。命山整備は調査中の事例について、継続的に研究していく。収容避難所の浴場施設設置は極めて困難であるので、ライフライン復旧後は市内の温泉施設や公衆浴場等に協力を求めたいと考える。

その他の質問 ○不登校児童・生徒について

特別委員会調査状況

防災安全特別委員会

平成24年度に引き続き、「本市の防災安全に関して、総合的な取り組みや対策等について調査すること」を目的に設置しています。

執行部より現状及び今年1年間の事業計画を聞いた上で、今後の調査研究テーマを協議し、大きく次の3つのテーマと決定しました。

- ① ライフラインの確保について
- ② 沿岸地域津波対策について
- ③ 災害時の行政と民間との連携について



鼓ヶ浦小学校 避難階段

8月19日の委員会で、さらにこの3項目について議論し、10月28日に神奈川県小田原市へ「災害用指定井戸制度」と「災害ボランティアセンターの運営」について、また、同月29日には静岡県富士市へ「津波避難タワー」について、行政視察を行いました。

議会改革特別委員会

本委員会は、「鈴鹿市議会基本条例の趣旨を尊重し、さらなる改革に向けて調査研究すること」を目的に設置されました。

議会基本条例の検証として次の項目について、調査研究を行うこととなりました。

- ① 議員定数と議員報酬について
- ② 議会報告会の検証について
- ③ 委員会のあり方について
- ④ 役議員の任期について
- ⑤ ICTの活用について

10月28日に茨城県日立市に、同月29日には静岡県沼津市にそれぞれ「議会改革の状況及び議員定数の見直しについて」を視察テーマとして行政視察を行いました。



特別委員会審議状況